

## 第6代 さやま楽友会（さやま市民大学同窓会） 会長就任にあたって

黒川 昭

さやま楽友会会員の皆さま、こんにちは。令和2年度、3年度の2年間、事務局長を務めてまいりました黒川昭（くろかわ あきら）と申します。この度、会長という、私にはたいへん荷の重い役を引き受けることになりました。しかしながら、お受けしたからには微力を振り絞って一所懸命に重責を果たしてまいります。どうぞ皆さま、お力をお貸しくださいますようお願い申し上げます。

### ☆ 私たち会員が、とにかく楽しむ集団に！

さて、今後のさやま楽友会の運営方針ですが、過去2年間、前任の中嶋会長と一緒に「同窓会」の在り方について模索を重ねてまいりました。そして、昨年は本会の理念を見直して、「とにかく私たち1人1人が楽しもう！」「仲間と一緒に楽しく過ごそう！」をスローガンに掲げました。もちろん「社会貢献・地域貢献」は大切なことです。しかしながら、同窓会とは「仲間同士、楽しく元気に、生きがいを持って活動する集まり」ではないかと考えました。市民大学で学ぼう、学んだという狭山市の中でもインテリジェンスの高い人たちが、各地区で元気に暮らし、活動している。これこそ「地域貢献」「まちづくり」ではないでしょうか。

### ☆ 会員同士、地域の中でつながりづくり

今年度以降もこの理念・基本方針は踏襲してまいります。さらに、今年度力を入れることは『地区活動』の推進です。本会には400名を越える会員がいます。全員と一緒に活動することは非常に困難です。1人1人に「さやま楽友会」の血液を巡らせることはたいへん難しいことです。そこで、小集団の地区活動です。会員の皆さまには「地区活動」「地区会」という言葉はまだ馴染みが薄いかも知れません。まずは地区の中で、2人、3人の会員同士が何か楽しいことをやってみる、そこに1人加わり、2人加わりして、やがて地域全体での小グループ活動になる。時間はかかるかと思いますが、「楽友会は面白いね。あの人と一緒に活動していると元気が出る！」そんな地域のつながりをつくることを目指していきます。

### ☆ 衆知を集めて実現する

こうしたことの実現のために、今年度から16人の理事の方には、①地区活動推進委員会 ②クラブ活動増強委員会 ③広報委員会のいずれかの委員会に加わっていただき、衆知を集めて活動していく所存です。会員の皆さまも、何か面白い提案のある方は、地区の「理事」または黒川までご連絡ください。実現に向けて一緒に検討していきましょう。

まだまだ力不足の“新米会長”です。今後、ご指導いただきながら、少しずつ良い方向に進めていきたいと思っております。どうぞご協力をお願い申し上げます。